

Interim Report

2008

2009年3月期【第2四半期決算のご報告】
(2008年4月1日～2008年9月30日)

STAR HOLDINGS CO.,LTD.

スターホールディングス株式会社



代表取締役社長
佐藤 不三夫

株主・投資家の皆様へのメッセージ

当第2四半期連結累計期間（平成20年4月1日から平成20年9月30日）におけるわが国経済は、サブプライムローン問題を背景とする世界的な金融不安や景気後退懸念、株式市場の低迷等の影響から、企業収益は減少し、設備投資も弱含んだ状態となりました。また、雇用環境の悪化とともに、家計部門の所得環境も弱い動きとなったことなどを受け、景気は横ばいから下向きの状態となりました。

為替市場においては、米当局の要人によるドル安けん制発言や米長期金利の上昇に連れて、4月初めの1ドル＝99円台後半から、6月半ばにかけて1ドル＝108円台半ばまで円が下落しました。その後は米金融機関の損失拡大への懸念や株価の下落を受け、一時的に円買いが進んだものの、7月中旬頃から原油価格が下落したほか、日本経済への懸念が高まったため、再び円が売られ、8月中旬に1ドル＝110円台まで下落しました。しかし、9月中旬にリーマン・ブラザーズの破たんやAIGグループへの公的資金注入、同月下旬には金融安定化法案の下院での否決などの影響から、米国の金融不安が台頭したため、リスク回避目的の円買いが進み、9月末には再び1ドル＝103円台をつけました。

なお、当第2四半期連結累計期間の東京金融取引所における取引所為替証拠金取引「くりっく365」の取引高は23,763千枚（前年同四半期比25.1%増）、当社グループの取引高は6,024千枚（同73.9%増）となりました。

商品先物市場においては、原油価格が国際商品市場の動向を左右する展開となりました。4月末にかけて一時的に下落したものの、5月に入り新興国の継続的な需要増観測などに加え、地政学リスクの懸念やドル安等の影響から投機マネーが流入し、6月末から7月初めにかけて140ドル台に達するなど史上最高値を更新しました。ところが7月中旬に入り、原油価格の高騰による需要の落ち込みや米国でファンドなどに対する規制強化の動きが高まったことで調整局面入りし、その後、9月に米国の金融不安が高まったことや世界的な景気悪化による需要減の観測から、原油価格は一時90ドル付近まで下落しました。この間

のCRB指数は4月初めの386台から7月初めの473台まで上昇し、それをピークに9月末には342台まで急落しました。

なお、当第2四半期連結累計期間における国内商品先物市場全体の売買高は51,423千枚（同29.3%減）、当社グループの売買高は450千枚（同45.9%減）となりました。

株式市場においては、4月初めは世界的な信用不安の後退と企業業績の悪化懸念とが入り混じる局面もありましたが、6月中旬までは堅調に推移し、日経平均株価は一時14,600円台まで上昇しました。その後、7月中旬に米国の政府系住宅金融の破綻などから金融不安が再燃したことで、日経平均株価は一時12,600円台まで下落したものの、米国政府が金融機関への支援策を打ち出したことに加え、高騰していた原油価格が調整したことなどを受けて、同月下旬にかけて13,600円台まで値を戻しました。しかし、8月は国内で不動産関連業者の経営破たんが相次いだことなどから軟調に推移し、9月には米国を中心に大手金融機関の破たんが相次ぎ、世界的な金融不安が広まったことを受け、9月末には11,100円台まで急落しました。

このような経済・市場環境のもと、当社グループの受取手数料は1,881百万円（同10.7%減）となり、その内訳は為替業務1,087百万円、商品業務753百万円、証券業務40百万円であります。売買損益は貴金属市場などで売買益を計上した結果、110百万円の売買益（前年同四半期は38百万円の売買損）となりました。また、営業費用は2,077百万円（前年同四半期比5.9%減）となりましたが、その主なものは、人件費650百万円（同25.0%減）、取引所等関係費481百万円（同18.3%増）、電算機費214百万円（同53.5%増）であります。

この結果、当第2四半期連結累計期間の当社グループの連結業績は、営業収益2,011百万円（同3.9%減）、営業損失65百万円（前年同四半期は113百万円の営業損失）、経常損失43百万円（前年同四半期は97百万円の経常損失）、四半期純損失24百万円（前年同四半期は58百万円の四半期純損失）となりました。

決算期（単位：千円）	2005/3	2006/3	2007/3	2008/3	2008/9（第2四半期）
営業収益	5,733,052	5,355,173	4,324,130	3,725,017	2,011,226
経常利益	△ 22,251	△ 272,858	△ 517,114	△ 384,611	△ 43,634
四半期（当期）純利益	△ 24,789	△ 248,446	△ 928,242	△ 340,682	△ 24,489
総資産額	24,147,774	25,105,613	28,134,390	28,981,486	33,656,944
純資産額	8,195,656	7,857,595	7,084,249	6,544,423	6,494,043

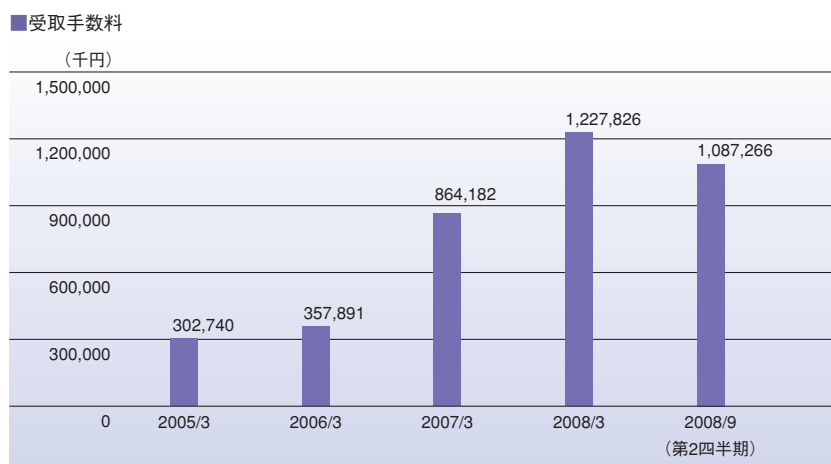
四半期連結財務
ハイライト

セグメント概況

為替業務

当第2四半期連結累計期間の概況

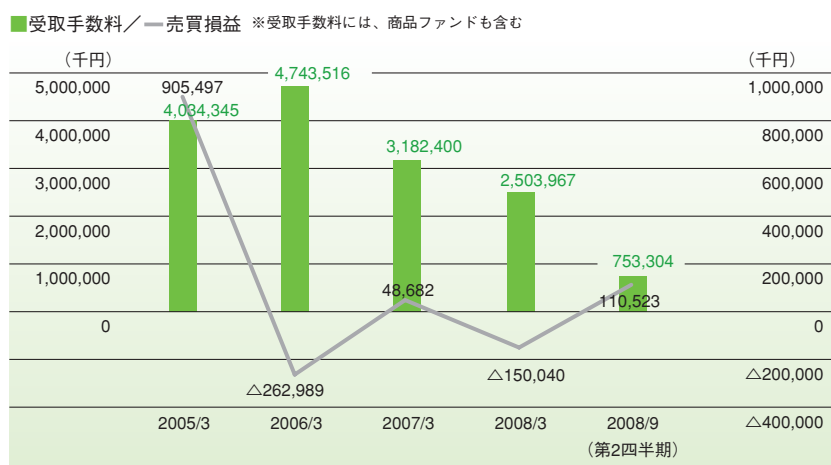
当第2四半期連結累計期間における当社グループの為替業務の受取手数料は1,087百万円（前年同四半期比60.0%増）となり、その主な内訳は米ドル/円の取引391百万円（同109.6%増）、豪ドル/円の取引214百万円（同58.8%増）、英ポンド/円の取引204百万円（同113.3%増）です。



商品業務

当第2四半期連結累計期間の概況

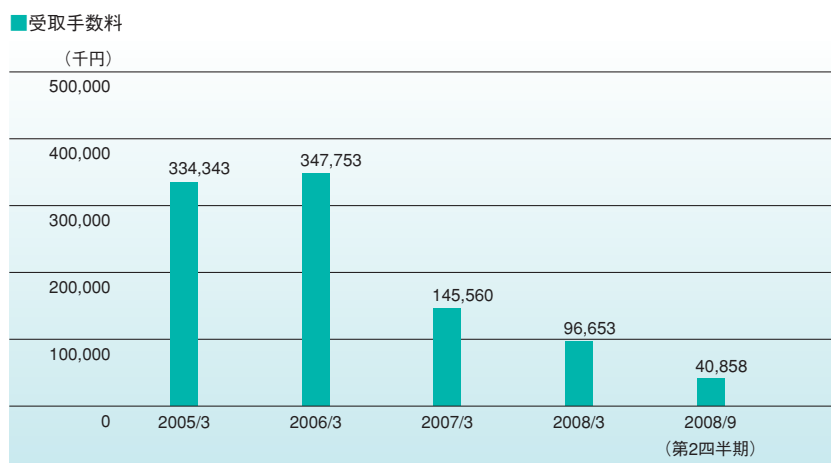
当第2四半期連結累計期間における当社グループの商品業務の受取手数料は753百万円（前年同四半期比45.2%減）となり、その主な内訳は貴金属市場611百万円（同8.8%減）、農産物市場97百万円（同82.3%減）、石油市場29百万円（同74.3%減）です。



証券業務

当第2四半期連結累計期間の概況

当第2四半期連結累計期間における当社グループの証券業務の受取手数料は40百万円（前年同四半期比21.2%減）となりました。なお、当社グループの注力分野である信用取引および先物・オプション取引に係る受取手数料が、証券業務の受取手数料に占める割合は57.0%（前年同四半期は62.7%）となっています。



連結財務諸表

四半期連結貸借対照表

<参考データ> (単位：千円)

	当第2四半期 2008年9月30日現在	前第2四半期 2007年9月30日現在	前 期 2008年3月31日現在
資産の部			
流動資産	32,111,937	25,705,858	27,181,476
現金及び預金	4,014,961	3,870,576	3,387,773
預託金	875,000	1,206,941	1,025,000
委託者未収金	107,373	163,884	165,602
保管有価証券	314,016	554,187	413,489
差入保証金	23,422,710	16,275,776	18,834,623
金銭の信託	1,620,031	2,020,000	1,570,000
信用取引資産	465,793	554,745	468,859
委託者先物取引差金	877,939	687,146	964,216
その他	415,229	373,107	353,632
貸倒引当金	△ 1,116	△ 508	△ 1,722
固定資産	1,542,483	1,776,828	1,797,126
有形固定資産	92,538	131,648	124,433
無形固定資産	55,963	41,001	59,849
投資その他の資産	1,393,981	1,604,177	1,612,843
繰延資産	2,523	202	2,883
資産合計	33,656,944	27,482,889	28,981,486
負債の部			
流動負債	26,133,758	19,472,314	21,275,051
預り証拠金	1,946,726	2,988,731	2,394,216
外国為替取引預り証拠金	22,040,027	13,969,169	16,798,185
預り証拠金代用有価証券	314,016	554,187	413,489
信用取引負債	460,373	542,473	445,856
受入保証金	361,743	577,905	460,884
その他	1,010,871	839,848	762,418
固定負債	843,122	879,050	878,746
繰延税金負債	66,732	85,402	84,597
役員退職慰労引当金	322,422	299,090	320,720
負ののれん	440,214	469,562	454,888
リース資産減損勘定	13,753	24,995	18,541
特別法上の準備金	186,019	298,766	283,265
商品取引責任準備金	154,904	276,013	258,890
証券取引責任準備金	10,815	11,199	10,815
金融先物取引責任準備金	20,300	11,553	13,559
負債合計	27,162,900	20,650,131	22,437,063
純資産の部			
株主資本	6,454,973	6,761,827	6,479,802
評価・換算差額等	39,070	70,929	64,621
少数株主持分	—	—	—
純資産合計	6,494,043	6,832,757	6,544,423
負債純資産合計	33,656,944	27,482,889	28,981,486

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しています。

四半期連結損益計算書

<参考データ> (単位：千円)

	当第2四半期 2008年4月1日から 2008年9月30日まで	前第2四半期 2007年4月1日から 2007年9月30日まで	前 期 2007年4月1日から 2008年3月31日まで
営業収益	2,011,226	2,093,804	3,725,017
営業費用	2,077,036	2,207,476	4,144,606
営業損失	65,810	113,672	419,589
営業外収益	29,650	30,595	57,120
営業外費用	7,474	14,580	22,142
経常損失	43,634	97,656	384,611
特別利益	148,715	97,082	115,163
特別損失	17,207	25,342	44,577
税金等調整前四半期(当期)純利益又は 税金等調整前四半期(当期)純損失(△)	87,873	△ 25,917	△ 314,025
法人税、住民税及び事業税	112,908	21,544	9,237
法人税等調整額	△ 545	11,195	17,418
四半期(当期)純損失	24,489	58,656	340,682

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しています。

四半期連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

<参考データ> (単位：千円)

	当第2四半期 2008年4月1日から 2008年9月30日まで	前第2四半期 2007年4月1日から 2007年9月30日まで	前 期 2007年4月1日から 2008年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	481,863	168,840	△326,951
投資活動によるキャッシュ・フロー	22,198	171,043	66,129
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 381	△17,958	△18,056
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	503,679	321,924	△278,878
現金及び現金同等物の期首残高	2,823,089	3,101,968	3,101,968
現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高	3,326,769	3,423,893	2,823,089

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しています。

当冊子の表記について

当期から金融商品取引法に基づく四半期報告制度が導入されたことにより、表記内容が変更されていますが、当冊子では株主様の利便性を考慮し、以下を取り決めました。

- 収益関連数値については、期初からの「累計値」を用いています。
- 当四半期の財務情報と前年同期の財務情報とでは会計基準や用語表現などが異なります。しかし前年と比較しやすいよう、主要数値については「ご参考値」として併記しています。その際、前年同期(中間期)については「前第2四半期」と記述しています。



当社の連結子会社であるスター為替株式会社は、取引所為替証拠金取引「くりっく365」システムにおきまして、次世代システムの導入を行いました。

次世代システムの主要な変更点（抜粋）

- 建玉の両建ておよび指定決済機能の導入
- 対円取引の通貨を10通貨ペア以上追加
- クロスカレンシー（対円以外の通貨ペア）の上場

詳細はHPをご覧ください。

スター為替株式会社HP <http://www.starkawase.jp/>

会社概要（2008年9月30日現在）

- 社名 スターホールディングス株式会社
- 本社 福岡市博多区博多駅前1-2-5
- 設立 2004年12月1日
- 資本金 25億円
- 従業員 (単独) 4名 (グループ) 172名
- 主な事業内容 金融商品取引業、商品先物取引業を営む子会社・関連会社の株式を所有することによる当該会社の事業活動の支配および管理
- 役員

代表取締役社長	佐藤 不三夫
取締役	吉田 信明
取締役	竹村 義則
常勤監査役	川崎 芳徳
監査役	原口 隆義
監査役	林 和雄
監査役	福田 孝一

株式の状況（2008年9月30日現在）

- 発行可能株式総数 25,000,000株
- 発行済株式総数 6,543,700株
- 株主数 1,546名
- 大株主の状況

株主名	所有株式数(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
吉田信明	1,209,555	18.48
スターホールディングス(株)	444,832	6.80
佐藤不三夫	344,025	5.26
吉原商品(株)	255,560	3.91
木原和喜	232,435	3.55
竹村義則	184,000	2.81
SHD自社社員持株会	176,400	2.70
木原商事(株)	141,570	2.16
石崎幸七	131,230	2.01
木原秋好	129,660	1.98

グループ会社概要（2008年9月30日現在）

スターアセット証券株式会社

設立：1970年12月
 資本金：20億27万円
 代表者：竹村 義則
 本社：福岡市博多区博多駅前1-2-5
 支店：日本橋支店、大阪支店
 事業内容：商品先物取引業
 金融商品取引業

スター為替株式会社

設立：2007年4月
 資本金：4億5,500万円
 代表者：佐藤 不三夫
 本社：東京都中央区日本橋本町1-5-4 住友不動産日本橋ビル9階
 事業内容：金融商品取引業

スターインベスト株式会社

設立：2004年8月
 資本金：4億8,000万円
 代表者：吉田 信明
 本社：福岡市博多区博多駅前1-2-5
 事業内容：ディーリング事業

カーボンニュートラル株式会社

設立：2007年7月
 資本金：1,000万円
 代表者：仁木 靖
 本社：東京都中央区日本橋本町1-5-4
 事業内容：環境事業

株主メモ

- 事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
- 定時株主総会 毎年6月
- 基準日 毎年3月31日
その他必要がある場合は、あらかじめ公告する一定の日
- 株主名簿管理人 株式会社だいこう証券ビジネス
- 同事務取扱場所 〒541-8583
 大阪市中央区北浜二丁目4番6号
 株式会社だいこう証券ビジネス 本社証券代行部
 (各種お問合せ) 電話 0120-255-100
※株式関係のお手続用紙のご請求は、次の電話番号およびインターネットで24時間受け付けています。
 手続用紙請求電話 0120-351-465
 インターネットホームページ <http://www.daiko-sb.co.jp/>
- 公告掲載方法 日本経済新聞に掲載
- 上場金融商品取引所 福岡証券取引所 大阪証券取引所